

女性のお口の中の年齢変化のお話

女性のお口の中のトラブルは、年齢によって増減するホルモン量に、生涯大きく左右されます。特に歯周病菌の中には女性ホルモンを好む菌があり、注意が必要です。今回は年代別におこりやすいお口の中のリスクと一緒に学んでいきましょう。

思春期

この時期におこりやすいお口のトラブル

むし歯 思春期性歯肉炎



思春期の女子は月経も始まりホルモン量が急激に増加して、歯肉炎を起こしやすい時期です。だから食いによるむし歯にも注意が必要です。

成年期

この時期におこりやすいお口のトラブル

顎関節症 妊娠性歯肉炎 むし歯



成年期は月経や妊娠により女性ホルモンの分泌が活発になります。特に妊娠中は歯肉炎に加え、食事回数の増加、胃液の逆流によりむし歯が発生しやすくなります。

壮年期

この時期におこりやすいお口のトラブル

ドライマウス 根面う蝕 歯周病 口臭



女性ホルモン減少の影響で唾液の分泌量が減り、ドライマウスになると考えられています。根面う蝕（歯の根の露出した部分にできるむし歯）、歯周病、口臭に注意が必要です。

老年期

この時期におこりやすいお口のトラブル

骨粗しょう症 歯周病の重症化



閉経による影響で骨密度が減少すると、歯を支えているアゴの骨にも影響を及ぼし、骨を溶かす病気になる歯周病も重症化しやすいと考えられています。

このように女性ホルモンの量は女性のお口の状態に深く関わります。ご自宅でおこなう歯磨きなどのセルフケアと歯科医院での定期検診で、ご自身のお口の中の健康を維持していきましょう。

VOICE

ご自分の年代で想定できるリスクをあらかじめ知っておき、早めのケアを心がけていきましょう!!

KOMIYA DENTAL ☆ NEWS LETTER

2017
2

2月になりました。早くからスーパー、コンビニの片隅で

「バレンタイン・デー」コーナーが設けられているのを目にしました。

スイーツ好きの人たちがこんなにも多いかと思うとまだまだ歯科でのむし歯治療のニーズはありそうですね。治療を完了したからと言って、今まで通りの食生活、磨き残しがあれば、むし歯は再発するのは当然です。『二次う蝕＝二次カリエス』まして、歯髄（神経）をとった状態では、痛みを感じることはありませんので、次に何かトラブルが起きた時には、かなり悪化していることも少なからずあります。

また、昨今では、砂糖の過剰摂取に警鐘を鳴らしている情報も多々あります。①砂糖のとり過ぎは体内のビタミン、カルシウム、ミネラル不足を招きます。②砂糖は、血液を酸化（汚す）させ、赤血球や細胞を崩壊させます。③アトピーなどアレルギーはもちろん、冷え性、頭痛、肩こり、貧血、便秘、むし歯、胃潰瘍、糖尿病、心臓機能低下、子宮異常、静脈瘤などや、恐ろしい難病と言われるようなもののほとんどが、砂糖病なのです。④白砂糖や人工甘味料など吸収が早い糖質食品をとりすぎると、急上昇した血糖値を下げる作用が過剰に働き逆に低血糖になるなど、血糖値が乱高下して「キレやすくなる」とわれています。

むしゃくしゃ、イライラ、疲れた時に甘いものを口に含むとリラックスできる気がしますが、「過ぎたるは及ばざるが如し」。上手に付き合う必要がありますね。

砂糖を過剰に摂取することにより、ビタミン、カルシウム、ミネラル不足をきたし、風邪をひいたり体調不良をも起こしやすいようです。一度キャンセルされると人気のある時間帯の予約は、かなり先になってしまうこともあります。急なキャンセル、予約を忘れてしまったりしないようお気を付けください。（秀）

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。



☎03-5699-8888

〒125-0041

葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

インターネット予約確認サービス >> <https://dn2.dent-sys.net/komiya>

ホームページ >> <http://www.wahaha.gr.jp>

E-Mail >> dental@wahaha.gr.jp